

平成 29 年 11 月 30 日

各 位

株式会社北洋銀行

**安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針  
～「お客さま第一主義」(フィデューシャリー・デューティー)の徹底～  
にかかる成果指標(KPI)の設定について**

北洋銀行は、お客さま第一の業務運営をより一層推進するため平成 29 年 6 月 9 日に策定した、『安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針～「お客さま第一主義」(フィデューシャリー・デューティー\*)の徹底～』(以下、本方針)の取組状況を分かりやすく確認できる定量的な成果指標(KPI)を、以下のとおり設定しましたのでお知らせいたします。

**【成果指標 (KPI)】**

- ①投資信託販売件数上位 10 商品および投資対象別販売構成比
- ②投資信託商品ラインナップ状況
- ③保険商品ラインナップ状況
- ④預り資産残高(一時払保険、投資信託、金融商品仲介)
- ⑤投信積立期中振替金額およびご契約者の年齢層別口座数
- ⑥NISA 口座数推移および稼動口座の年齢層
- ⑦FP 技能士資格取得者数および取得率
- ⑧投資信託販売額の毎月分配型とそれ以外の販売比率
- ⑨お客さま向けセミナー開催回数

今後も、本方針に基づく「行動計画」および「具体的取組」を実践することで、お客さまの安定的な資産形成・資産承継を実現するとともに、「お客さま第一主義」の業務運営を企業文化として定着させてまいります。

また、今回設定した成果指標(KPI)の実績を定期的に公表してまいります。

※フィデューシャリー・デューティーとは、お客さまのニーズを正確に捉え、適切な説明や情報提供を実施し、お客さまの意向や利益に真に適う金融商品やサービスを提供することをいいます。

以 上

「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」に係る成果指標(KPI)

2017年9月末現在

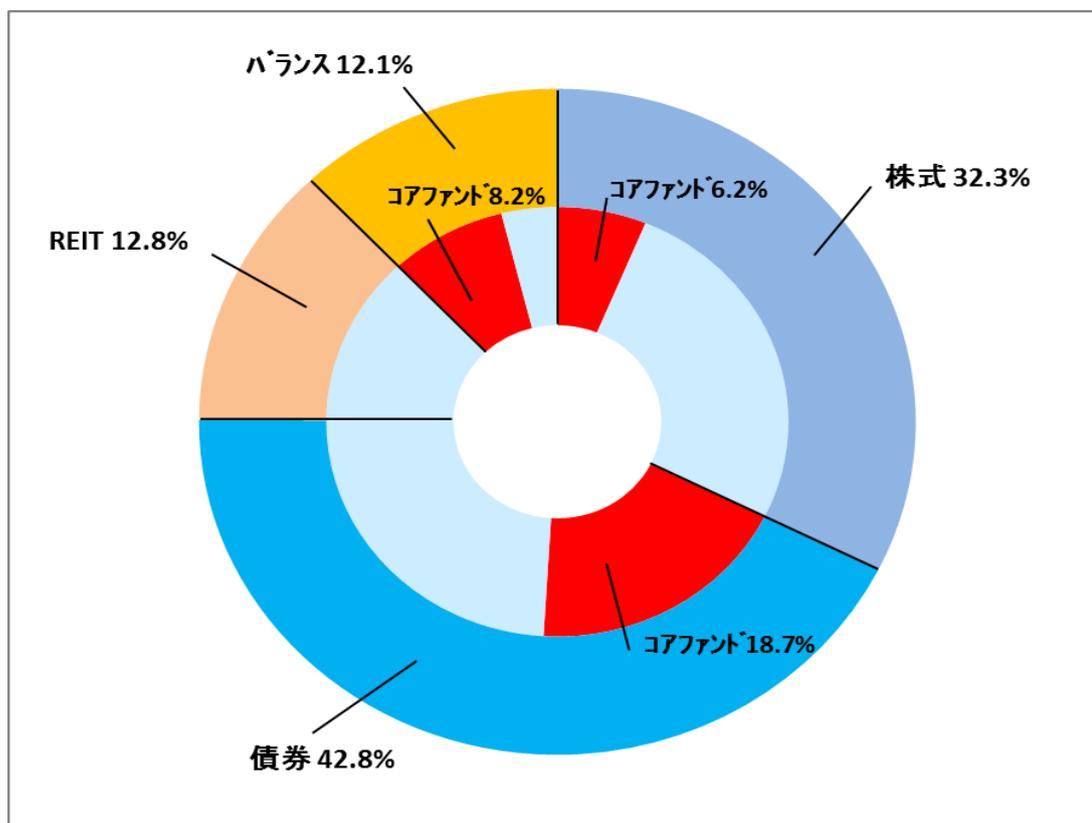
▶ お客さま第一に徹したコンサルティングに努め、お客さまのライフステージに応じた商品のご提案を行ってまいります。

①投資信託販売額 上位10商品および投資対象別販売構成比

(2017年4月～9月)【投信積立を除く店頭・インターネット取扱分の合計】

順位	商品	投信会社名	投資対象	コアファンド <sup>*</sup> (※)	構成比
1	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	野村アセットマネジメント	グローバル債券	○	12.6%
2	ニッセイ・コーポレート・ハイブリッド証券ファンド 2017-06(為替ヘッジあり)	ニッセイアセットマネジメント	先進国債券		11.9%
3	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne	海外REIT		7.9%
4	マイ・ウェイ・ジャパン	大和住銀投信投資顧問	国内株式	○	6.2%
5	ほくよう資産形成応援ファンド	ちばぎんアセットマネジメント	国内バランス	○	4.6%
6	Y jamプラス!	アストマックス投信投資顧問	国内株式		4.4%
7	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	アセットマネジメントOne	国内REIT		4.2%
8	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Cコース	野村アセットマネジメント	グローバル債券	○	4.0%
9	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	岡三アセットマネジメント	新興国株式		3.6%
10	ルディック社債ファンド 為替ヘッジあり	野村アセットマネジメント	ハイイールド債券		3.4%

※コアファンドとは、当行の基準で選定した、相場の変動から資産を守りながら中長期的に安定したリターンを目指すファンドです。



＞お客さまの多様なニーズにお応えするため、様々なカテゴリの金融商品を幅広くラインナップしてまいります。

②投資信託商品ラインナップ状況(2017年9月末)

商品カテゴリ	取扱商品数		うちコアファンド <sup>o</sup> 商品数	うちインターネット専用	
	商品数	構成比		商品数	構成比
<b>株式</b>	<b>33</b>	<b>30.0%</b>	<b>1</b>	<b>7</b>	<b>38.9%</b>
国内株式	13	11.8%	1	4	22.2%
先進国株式	8	7.3%	0	2	11.1%
新興国株式	7	6.4%	0	1	5.6%
グローバル株式	5	4.5%	0	0	0.0%
<b>債券</b>	<b>41</b>	<b>37.3%</b>	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>33.3%</b>
国内債券	5	4.5%	1	2	11.1%
先進国債券	16	14.5%	2	2	11.1%
新興国債券	9	8.2%	0	2	11.1%
ハイイールド <sup>o</sup> 債券	3	2.7%	0	0	0.0%
グローバル債券	8	7.3%	4	0	0.0%
<b>REIT</b>	<b>17</b>	<b>15.5%</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>16.7%</b>
国内REIT	5	4.5%	0	1	5.6%
海外REIT	8	7.3%	0	0	0.0%
グローバルREIT	4	3.6%	0	2	11.1%
<b>バランス</b>	<b>19</b>	<b>17.3%</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>11.1%</b>
国内バランス	1	0.9%	1	0	0.0%
海外バランス	18	16.4%	4	2	11.1%
<b>合計</b>	<b>110</b>	<b>100.0%</b>	<b>13</b>	<b>18</b>	<b>100.0%</b>

③保険商品ラインナップ状況(2017年9月末)(ほけんプラザを除く)

商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
<b>円建</b>	<b>6</b>	<b>28.6%</b>
変額個人年金	1	4.8%
終身保険	5	23.8%
<b>外貨建</b>	<b>15</b>	<b>71.4%</b>
変額個人年金	3	14.3%
定額個人年金	1	4.8%
終身保険	11	52.4%
<b>合計</b>	<b>21</b>	<b>100.0%</b>
うち手数料開示商品 <sup>※</sup>	20	95.2%

商品カテゴリ	店頭取扱商品数	
	商品数	構成比
平準	2	14.3%
個人年金保険	2	14.3%
終身保険	2	14.3%
払商品	7	50.0%
医療・がん保険	7	50.0%
介護・収入保障保険	3	21.4%
<b>合計</b>	<b>14</b>	<b>100.0%</b>
うち手数料開示商品 <sup>※</sup>	1	7.1%

※ 外貨建保険、変額保険、市場価格調整機能を備えた保険など、市場リスクを有する商品(2016年10月より開示)。

＞お客さまの長期的・安定的な資産形成の実現につながるご提案により、預り資産残高の増加を図ってまいります。

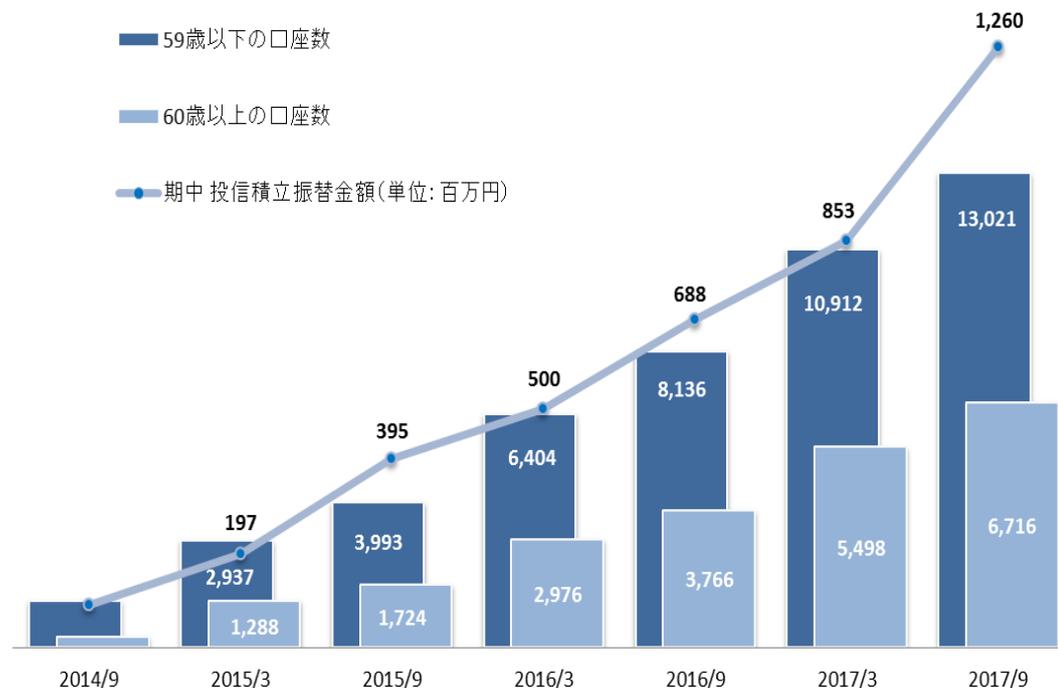
④ 預り資産残高（一時払保険、投資信託、金融商品仲介）



※ 投資信託・金融商品仲介は時価により集計しています。  
 ※ 一時払保険は販売額累計額により集計しています。

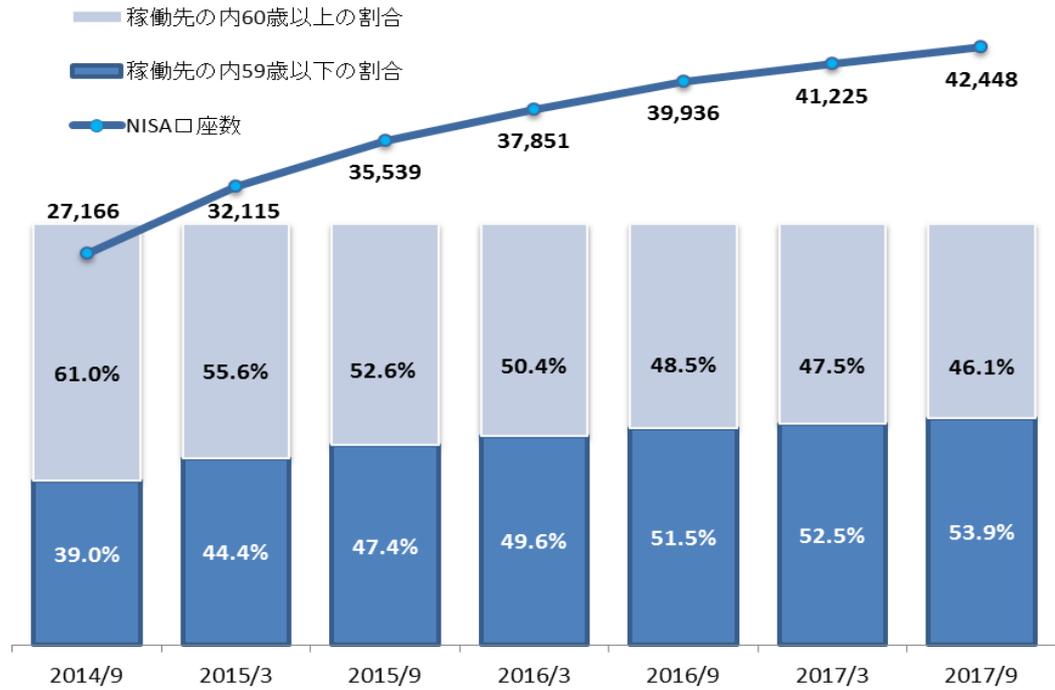
＞積立機能を活用した長期分散投資促進のため、資産形成層を中心に投信積立の拡大を図ってまいります。

⑤ 投信積立 期中振替金額およびご契約者の年齢層別口座数



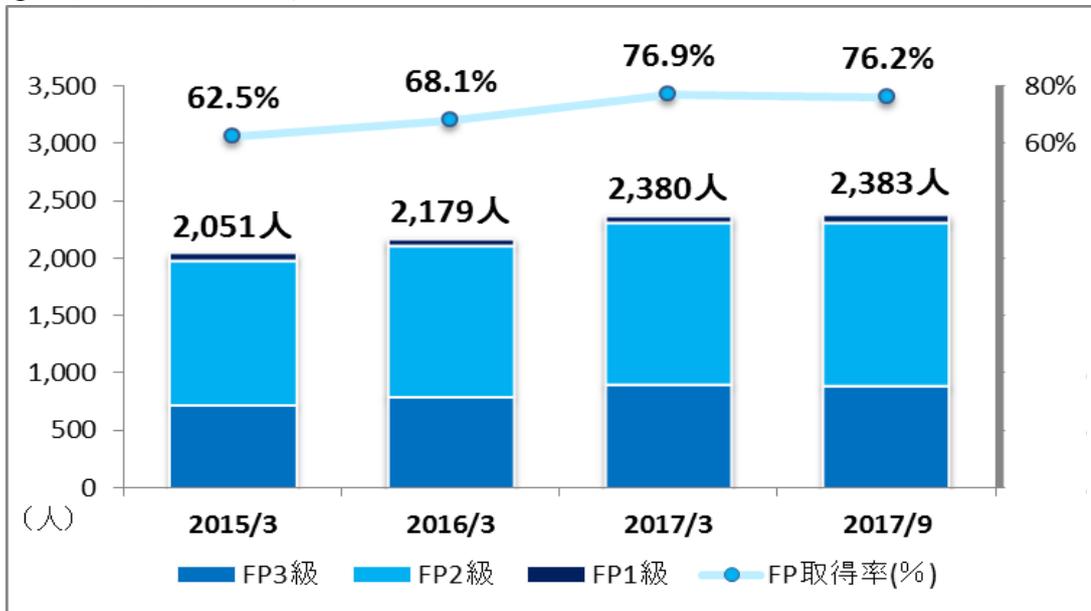
➤ 安定的な資産形成の実現を図るため、少額投資非課税制度(NISA)の普及促進を行ってまいります。

⑥ NISA口座数推移および稼働口座の年齢層



➤ お客さまのニーズに沿った最適な商品をご提案するため、金融に関する資格取得を促進し、金融のプロとしての自覚・意識醸成を図ってまいります。

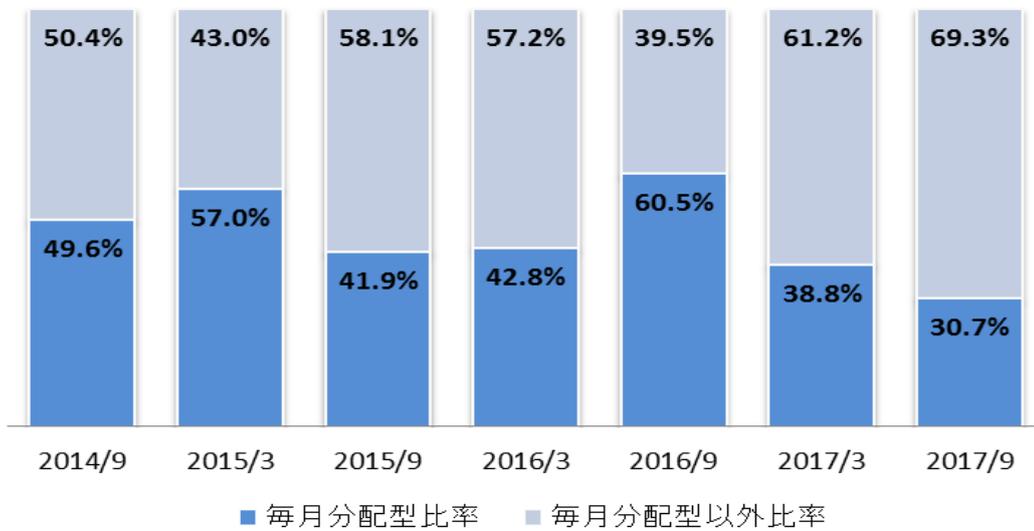
⑦ FP技能士資格取得者数および取得率(※)



※取得率は従業員数(就業人員)に占める割合

＞ 投資信託における複利効果の有効性など、金融商品の仕組みや投資判断に必要な情報を適切にご案内し、最適なお提案に努めてまいります。

⑧ 投資信託販売額の毎月分配型とそれ以外の販売比率



※ 投信積立を除く

＞ お客さまの投資・金融知識の向上に役立つための、ライフステージに応じた「お客さまセミナー」を開催してまいります。

⑨ お客さま向けセミナー開催回数

